

事業の背景・目的

新潟県内では、平成9年頃から上越地域を中心に徐々に捕獲、撮影事例が増加してきていて分布エリアの拡大が懸念される結果となった。過去5年間（H28～R2）における、アライグマの捕獲数は22頭（5市）であった。急速に県内での分布を広げる恐れがあることから、分布エリアの市町村が連携し、専門家の意見を聞きながら効率的・効果的な防除に取り組む必要がある。

当県では、佐渡島でトキの野生復帰の取組が進められており、将来的に本州でも定着し、繁殖することを目標にしているが、アライグマの分布拡大はトキの本土での野生復帰にも大きな障害となることが懸念される。生物多様性保全の脅威となることから、分布拡大の初期にあたる現時点で、専門家の知見に基づいた効果的・効率的な防除計画により継続的な防除活動を実施することは不可欠であり、本事業を活用し防除体制を構築する必要がある。

事業の内容

ア アライグマ分布状況調査事業

- ・これまで県内で分布調査が行われていない地域を中心に、痕跡による調査を実施し、既存の調査結果と合わせ、県内の分布状況を明らかにした。

イ 防除計画検討事業

- ・分布調査事業により明らかになった分布エリアの市町村、地元関係者、狩猟関係者、野生動物専門家からなる検討会を設置し、先進事例等も参考にしながら、効果的・効率的な防除手法を検討し、防除実施計画（案）を作成した。

ウ 防除体制構築事業

- ・今後、重点的に防除を実施することになる上越市、糸魚川市、妙高市の担当者を対象に研修会を実施するとともに、3市への罠の貸出を開始した。

得られた成果

- ・県内全域でアライグマの痕跡を確認し、すでに離島を除く全ての市町村に侵入している可能性があることを把握した。
- ・防除実施計画（案）の作成にあたり設置した「新潟県アライグマ対策検討会」では、離島を除く全ての市町村に構成員として参加してもらい、本県における現状や今後の取組の方向性について、認識を共有することができた。